

憲法施行
62年

核も戦争もない世界へ

いま9条が 生きる時代です

日本共産党

侵略戦争で日本は、アジア・太平洋諸国で2000万人の命を奪い、国内でも広島と長崎に原爆が投下されるなど310万人もが犠牲となりました。こんな悲惨な戦争は二度とおこさない——憲法9条は、戦後日本の出発点です。

憲法がうまれて62年。世界はいま、この方向に大きく変わりはじめています。地図をご覧ください。紛争の平和解決をめざす流れがアジア全体にひろがり、中南米でもアメリカいなりからぬけだす動きがわき起こっています。



■＝平和解決、武力行使の禁止をうたう東南アジア友好協力条約。25カ国37億人。世界人口の57%の地域にひろがり、EUやアメリカも参加を検討。

■＝“アメリカの裏庭”といわれた中南米で、自主的な国づくりをめざす「中南米・カリブ海諸国機構」。アメリカ、カナダをのぞく33カ国が参加。

「核兵器の
ない世界」へ

志位委員長がオバマ米大統領に書簡

オバマ米大統領は4月5日、チェコの首都プラハで、「核兵器を使用したことのある唯一の核兵器保有国として、米国は行動する道義的責任がある」と演説。歴代大統領ではじめて原爆投下の責任にふれ、「核兵器のない世界」をめざすと明言しました。

日本共産党の志位和夫委員長は、この演説を歓迎

し、大統領あての手紙をアメリカ大使に手渡しました。手紙はオバマ大統領に、核兵器廃絶の国際条約をむすぶために、積極的なイニシアチブを発揮することを強くもとめています。

憲法9条がめざした「核も戦争もない世界」を実現することが、可能な時代となっています。

「海賊退治」だと、しゃにむに海外派兵につきすすむ。グアム島にある米軍基地の強化に日本の税金をつぎ込む。さらに憲法9条をかえて、日本を「海外で戦争する国」にしようとする——日本政府のやることは、世界の流れに逆らうことばかりです。

日本共産党は、平和を愛する国民とともに、9条をまもり生かします。



しん
ぶん 赤旗

2009年5月号外
(1952年5月30日 第三種郵便物認可)

発行●日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

TEL03-3403-6111(代表) FAX03-5474-8358 ホームページアドレス <http://www.jcp.or.jp>

日本共産党の見解を紹介します。あなたのご意見、ご感想をお寄せください。